

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	伊藤 理絵	学校名	昭島市立共成小学校
実施学年	小学校6年	教 科	総合的な学習の時間
単元名	「情報モラルを身につけよう②（SNS 東京ノート③ 「写真を公開する前に」）」		

《学びを深めたいポイント》

- ・一度公開した情報はすぐに拡散され消すことが難しくなる場合があることなど、ネットの特性に気付くことを通して、情報公開のリスクについて考える。
- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があることに気付き、児童が自分と相手の感じ方の違いについて身をもって知り、写真をネットに公開するリスクを理解する。
- ・対話を通して、発信する情報（今回は写真）を【分析→評価→対策】の順で考えることにより、情報公開におけるリスクマネジメント力の育成を目指した。

《SKYMENU 活用のポイント》

・情報モラル教育の授業として、「SNS 東京ノート」（※現在は「GIGA ワークブックとうきょう」https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/giga_workbook/index.html）を教材として活用した。この教材の特徴は、情報モラルに関する内容を、リスクだけでなく、上手な活用方法を学べるところにある。また、カードを使って自分の感じ方を並べた後、友達と並び方を比較することで、人との感じ方の違いを視覚化しながら学ぶことができる教材（東京都教育委員会認定済み）である。

現在電子版も出ており、そちらでもカードを動かして画面を見せ合うことができるが、私はあえて SKYMENU の発表ノートでカードを配布し、授業を行う方がよいと考える。

そのメリットは、以下の6点である。

- ①提出させることで、クラス全体での比較ができる。
- ②児童が発表ノートの操作になれている。
- ③カードの色や文のニュアンス等をカスタマイズできる。
- ④入力フォームを作ることで、理由や振り返りも同時に入力でき、それを共有することができる。
- ⑤学んだことが保存され、見返すことができる。（情報モラルのフォルダで整理しておくのもよい）
- ⑥作った教材やテンプレートを学校間で共有でき、内容を変えるだけで繰り返し使うことができる。

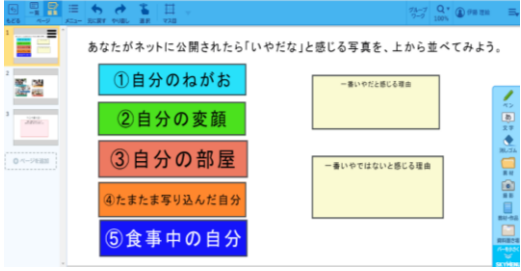
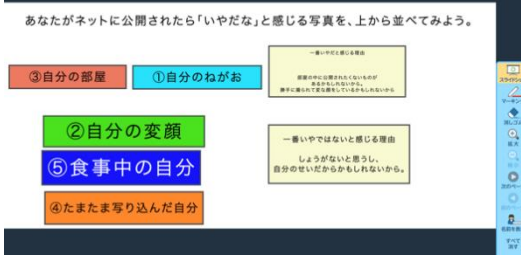
・今回の活用では発表ノートのテキストをあえて動かせるように（背景化せずに）児童に配布した。児童は指で簡単にカードを操作して、並び替えができるようにした。

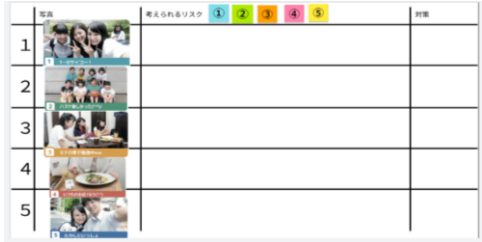
- ・操作の後に、なぜその順番にしたのかをテキストで入力し、児童間で共有した。
- ・1時間の中で SKYMENU の発表ノートと Google Jamboard を両方活用した。

・この授業は「令和4年度昭島市 ICT 担当者連絡会」でモデル授業として行った。情報モラルの模擬

授業を公開すると同時に、SKYMENU の発表ノート機能の使い方や便利さを市内学校の ICT 担当者に紹介・検討することもできた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	○スマホでのカメラ機能や写真の活用方法について話す。 ・デジタル写真の身近さやよさを実感させることで、リスクを学ぶことの必然性を高める。		
展開	○ネットに公開されたら「いやだな」と感じる写真を順番に並べる。 ・グループで画面を見せ合い、一人ずつ理由を話す。 ・ノートを提出し、クラス全体でも比較し、理由を共有する。 ・「いやだな」と感じる写真や理由がそれぞれ異なることに気付く。 ・理由も読み比べることで、同じカードについても、様々な視点の理由があることに気付く。	・SKYMENU の発表ノートに、カードを並べて配布する。 ・発表ノートを使うことで、効率的に操作し、共有できるようにする。  ※児童の入力  ※提出されたものを並べて比較 	・発表ノートのカードの部分を背景化せずに児童に配布した。児童は指で簡単にカードを操作して、並び替えができるようにした。 ※児童によっては、カードの形を自分で変えて、同位であることを表現していた。自分なりのカスタマイズができるところもメリットである。

	○5枚の写真を見比べ、インターネット上に公開した際のリスクについて考える。【分析・評価】 ・グループごとに話し合い、リスクが高いと考える順番に並べる。 ・理由を付箋に書き出すことで、様々な観点からのリスクが存在することに気付く。 ○グループごとに話し合ったことを発表する。 ・考えを聞き合うことで違いに気付き、多方面からリスクが存在することに気付く。 ・リスクが高い写真については、どうすればリスクを低くできるかについても考える。【対策】	※Google Jamboard の共同編集 	
まとめ	○【振り返り】 ・写真をネットに公開することに関して、考えたことや気を付けていきたいことを書く。	・SKYMENU 発表ノートの3ページ目を使用し、振り返りを入力し提出する。 今日の振り返り 今日の学習で気付いたこと 自分にとって嫌じゃない写真でも、他の人にとっては嫌かもしれないということがわかった。そして、どんな写真にもリスクはある。 これからの生活で使っていきたいこと 個人情報インターネットに乗せる時は写真を加工したり、些細なことにも注意してなるべくリスクをさげる、ということをはかして行きたい。	・学んだことを見返しながら振り返りを入力できた。 ・その場で書ききれなくても、家庭でじっくり考えて入力し、後日提出する児童もいた。

《実践を振り返って》

成果

- ・ SKYMENU の発表ノートで効率的にカード操作ができ、自分と相手の感じ方の違いを「自分ごと」と捉えさせることができた。
- ・ 【分析→評価→対策】を情報発信のリスクマネジメントとして授業を展開した。対策まで考えることで、デジタル・シティズンシップに繋がっていくと考える。
- ・ 今回使用した発表ノートは学校間で共有している。この授業を学校公開などでも行うことで保護者にも情報モラル教育の啓発をすることができた。

課題

- ・ 受け取り側が「不快」などという感情面のリスクも存在する。リスクの度合いの判断基準も個人によって異なるため、ある程度の共通理解も必要かもしれない。
- ・ 話し合いで出てこなかったリスクについては、教師が提示する必要があった。